

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	消防車両を部署する際、車両ミラーがカーブミラーと接触しそうになった事案
3. 体験した事例の中心的要素	救急支援出動で消防車で出動途上、救急現場に直近するため右折をするか、大通りに停車させておくかで迷い、結果右折せず大通りで停車させるため直進したところ、左側の車両ミラーがカーブミラーに接触しそうになったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場到着を焦っていた。</li> <li>・右折箇所が狭隘の為、交差点手前で左側に車を寄せていた。</li> <li>・対向車や後方から進行中の一般車両に気を取られていた。</li> <li>・日没後で暗かった。</li> <li>・右折か直進か悩み、直進を選択した。</li> </ul>

### 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年10月7日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外: 交差点
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急出動途上
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他: 部署時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[47]歳、勤続年数[29]年、現場経験年数[29]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[50]歳、勤続年数[31]年、現場経験年数[31]年、階級[消防司令] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[19]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	交差点で一時停車し、右折を考慮	
経過2	当事者A、B	検討し、右折をせず若干直進し停車を決定	
経過3	当事者A	車両をゆっくり直進させる。	対向車、後方車両に注意
経過4	当事者B	左側カーブミラーの接触注意を促す。	
経過5	当事者A	右にハンドルを切り、カーブミラーとの接触回避	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

現場周辺は狭隘であり、救急車2台が先行し侵入していた。消防車進入可能であったが、その後の対応(救急車現場出発の妨げになる、一般車両の妨げになる等)を考慮し迷いが生じた。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

